



農の未来ネット

NO.26

特定非営利活動（NPO）法人「農の未来ネット」

理事長：倉本器征（東京農工大学名誉教授）

発行責任者：田沼 繁（NPO法人農の未来ネット事務局：電話 & FAX 042-313-3620）

編集長：西村正昭

<http://www.nou-mirai.org/index.html>

NPO 法人農の未来ネットセミナー

平成の農業はオレがやる！

Part II ～農業は楽し～
開催

「農の未来ネット」事務局長

田沼 繁

農の未来ネットは、2009年11月に、「平成の農業はオレがやる！～魅力への誘い～」をテーマに、当法人の設立記念セミナーを開催いたしました。今回のセミナーは、7月2日（土）に2弾として開催したものです。会場は前回同様、東京大学弥生講堂



【写真】挨拶する倉本理事長（東京農工大名誉教授）

アネックスセイホクギャラリーです。

セミナー開催の趣旨は、どうすれば農業の楽しさ、魅力がアピールでき、人を誘うことができるのか、講師陣に実践の立場から提言をいただくことです。

基調報告の講演では、武蔵大学の後藤光蔵教授が「農業就業者の現状と将来展望—非農家出身者の就業を中心に—」と題し、農業就業者問題とその背景、非農家出身者の就農目的、就農ルートの多様化、新規就農事業の展開および新規就農者の現状と課題について詳説されました。長野県で農業法人（有）トッピーバーの嶋崎秀樹社長からは、「平成の農業～人材育成と雇用と地域活性」と題し、実践者の立場から、人材育成の現状と今後、人材育成の考え方（農業経営者の育成）、儲かる・雇用・地域活性等の課題について講演され、特に、農業は産業でありマネジメント出来る人材の育成が重要だが現状では不足していると強調されています。専業農家であり、都市との交流を実践されている飯野良治さんは、農業の大事さを都市、こどもを通じつて地道に広げていく運動と農業生産を両立させていくことの必要性を、これまでの経験を踏まえて紹介し、これからも持続的に取り

組むと結ばれました。

なお、本セミナーは、東京農業大学総研研究会バイオビジネス部会と共催で開催しました。

参加者のご感想

★農と農業を1つの農業政策でくくるのは無理ではないか。各先生の講演をお聞きして、強く感じました。喰える農業、基幹的農業従事者が農業で充分経営が成り立つ政策の実現を期待したいと思えます。

★三者三様の立場から、多面的な意見を聞く事が出来、大変、有意義なセミナーでした。三名とも農業を活性化するという思いが十分に伝わってきました。私自身、中小企業診断士として、本日のセミナーを聞き、農業の法人化を推進すべきという思いに至りました。又、次回のセミナーを期待しています。

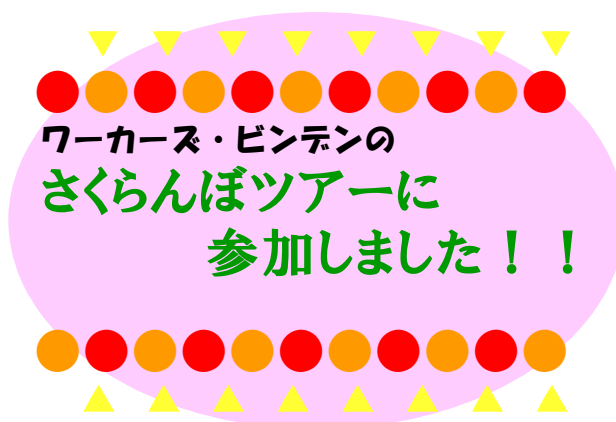
★農をやりたい人はたくさんいらっしゃいますが、農業を行おうとする人が少ないのは、収入の問題が一番大きいと思います。生産額数千万の農家、法人がいることはもっとPRしてもいいと思います。

★もうかる農業の中身をもう少し聞きたかった。品目でかなり違うとは思いますが、米・麦・大豆と商品作目での違いなどで相当パターンがあると思う。

★講師の嶋崎社長には関東農政局勤務の時

には 農政に対するご意見をいただきありがとうございました。

★農業にマネジメントは確かに必要です。



「農の未来ネット」事務局

濱田 仁

7月2日(土)～3日(日)、ワーカーズ・フェアビンデン主催のさくらんぼツアーに参加しました。このツアーは、山形県南陽市の農業法人のんのん倶楽部のご協力により、消費者と生産者の交流を目的としたものです。

実はこのツアー、東日本大震災による影響を個人的には不安に感じていました。仙台の友人から、四ヶ月近く経過しても生活に苦労していると聞いていたこともあります。私たちを迎えるにあたり、農家の方は苦労されたに違いありません。

当日はツアー事務局を含め23名が参加。炎天下の新宿をバスで早朝に出発しました。栃木県に入ると東北道の路面は凹凸が大きくなり、屋根がブルーシートで覆われた家が多く見えはじめます。如何に今回の地震が規模の大きなものであったか感じられました。

南陽市に予定時刻で到着すると、農家の皆さんが明るい表情で出迎えてくださいました。そして早速サクランボの品評会がスタート。農家ごと15品が卓上に並べられ、色艶・甘みなどを採点していきます。評価は農家の方に

直接伝わるといふことで参加したみなさんの表情は真剣です。今年のサクランボは色艶など文句のつけようがなく、とても美味しかったです。品評会の後は圃場へ移動。さくらんぼを楽しく収穫しました。

今回のツアーは昨年に続き私は2回目ですが、昨年私たちのボラバイト活動に興味を持っていただき、ご支援いただいた尾池さんにも再びお会いでき、その後の活動について説明したり、ご意見をいただいたりなど有意義なツアーとなりました。

品評会、さくらんぼ狩りの様子を写真でご紹介します。



【写真】 さくらんぼの品評会



【写真】 圃場での試食

農の未来ネット 会員のご案内

NPO農の未来ネットは、6月に皆様のご支

援のおかげで第3回総会を無事開催し、今年度の活動方針等を選択することができました。

今年も、皆様のご支援により活動を進めてまいります。その一環として、個人会員・団体会員を募集しておりますので、お知り合いの方にもお声をかけて頂くとともに是非ともご加入下さい。

皆様のご入会を心より、おまちしております。

個人会員：会費月 500 円（年間 6000 円）

団体会員：会費月 1000 円（年間費 12000 円）

郵便振込：00140-0-428901

加入者名：田沼繁

続々と農業問題に関する本 が出ています！！

～農業関連新刊本の紹介～

東日本大震災の復興や福島原発事故などの対応に追われる政府は、環太平洋経済連携協定（TPP）への参加を「先延ばし」を表明しているため、新聞でもTPP締結に関する記事が一時期に比べ減っています。しかし、政府はTPP参加を断念した訳ではありません。それを裏付けるようにTPPをはじめとする農業問題に関する新刊本が続々と刊行されています。さらに、震災復興の一環として「特区」設定の方向から、さらなる農地制度「改正」の動きがでてくる可能性があります。ここに、最近刊行されたTPPや農地制度問題の農業関連新刊本の一端をご紹介します。

（*定価は全て税別。説明のある本は全て出版社からの紹介文及び帯より抜粋です。）

